

杉の魅力再発見 屋久島で講演会

日本文化を育んできた木の香りの効能や、木材建築の良さを学ぶ講演会が11日、屋久島町宮之浦の屋久島環境文化村センターであった。住民ら約120人が参加。屋久島の杉の魅力を再発見するとともに、今後の利活用の方角性を模索した。

林業・木材関連業者でつくる「屋久島大屋根の会」主催。講師の秋田県立大学木材高度加工研究所長の谷田貝光克教授(67)は、「木

の香り(フィトンチッド)には消臭、抗菌防虫、リフレッシュ効果がある。日本人は昔から、桜餅やシヨウブ湯、線香などに利用してきた」と紹介。「杉の葉茶」「杉精油」が花粉症やアトピーに効果があるとされること、木

造建築の快適性などについてデータを基に解説した。

同町宮之浦の眞邊美智代さん(52)は「屋久杉の精油の話が面白かった。屋久島の杉をもっと活用していくべきだ」と話した。



杉の魅力について話す谷田貝光克教授「屋久島町宮之浦の屋久島環境文化村センター」